

「こんなに安くやるな」と同業者からクレームも 若手行政書士が法人設 立業務で「価格破壊」

札幌の若手行政書士が法人設立業務の代行サービスを格安で開始。業界内で話題となっている。

その行政書士とは、札幌市西区にある蝦名社会保険労務士・行政書士事務所の蝦名和広氏(28)。2003年に23歳で独立開業し、昨年、法人設立時の認証手続きを代行するサービス「法人設立サポートくん」を立ち上げた。

「会社をつくる際、公証役場に書類を出しますが自分で出すと印紙代が4万円か



蝦名和広氏

かります。専用ソフトと電子署名を使えばそれが足りないため、うちがそれらの手続きを行う代わりに手数料として4万円をいただく。利用者にとっては自分でやるのと変わらない料金で省力化をはかれます」

通常、行政書士に頼むと報酬代として10〜15万円かかるのが一般的。この費用をカットできる上、書類提出まで最短3日という迅速さも受け、現在までで約350件の設立を手がけている。同社にとっては、法人設立後の顧問契約を結ぶのが最終目的。そのために多少割に合わなくても新規開拓につなげようというのがねらいだ。

仕事をとられた同業者か

らは「なんでこんなに安くやるんだ」とクレームの電話も。実は、このところの資格試験人気で行政書士や社会保険労務士はニーズに対し、過剰気味。道内には1475人の行政書士、980人の社会保険労務士がいるが、過当競争に陥り始めているという。

道社会保険労務士会では「開業したけれどお客さんが来ないケースもある」と話しており、今後はこうした「価格破壊」による顧客争奪戦がいつそう激しくなりそうだ。

(安藤)